

No.1000

## あなたが考えた1000個目のアイデアを教えてください

2050年の丹波地域で起こることについて、これまで999個のアイデアを紹介してきました。最後の1000個目のアイデアは、これを読んでいるあなたに出していただきたいと思っています。

未来で起こることは誰も想像できません。1年後に起こることも、明日起こることすらも…。ましてや、2050年の未来なんて、誰が想像できるのでしょうか？

だからこそ、未来のアイデアは自由に出すことができるのです。既成概念に囚われず、あなたが感じた「こうなったらいいな」というアイデアを教えてください。

### タイトル

### 概要

### 背景

### 効果

## おわりに



30年後の未来をよくするアイデアと初めて聞いたとき私はこのアイデアだしが意味のあるものになるイメージができませんでした。

この一年ですらコロナウイルスが広がることで起こった様々な変革を予測すらできなかった私たちが30年後の未来を想像した所で、未来に繋がるアイデアなんて出せるわけがないと思ったことを覚えています。

それでも、たくさんの忙しい方々の時間を預かり行うことになるアイデアだしの時間を少しでも意味のあるものにしようと思い、考えた結果、たどり着いたのが1000個のアイデアを出すという方法でした。

10や20の耳障りのいいアイデアではなく、突拍子もなく思えるアイデアや荒唐無稽なアイデアであっても1000個出せば、未来に起こりうることを、より良い地域にする可能性を、見つけ出すことができるのではないか。

そう考え進めてきました。

アイデアを量産するために、現在の地域の特徴と未来で起こりうることを掛け合わせアイデアの種を出す[BEEET SEED]という手法を開発し、結果、様々な方の協力のもと、1000個のアイデアを出すことが出来ました。

実際行っていくなかで、たくさんの若者が考えた1000個のアイデアは想像を越える景色を私たちに見せてくれました。

無数にあるアイデア自体には大きな意味があるかどうかはわかりません。しかし、そのアイデアが重なり、見えてくるこの地域に起こりうる未来の輪郭は確かにこの地域がよくなるイメージを私たちに見せてくれました。

車の自動運転が実現したら田舎の地理的なマイナスは大きく改善されます。

バーチャルリアリティの技術がすすめば都市部に集まり仕事をするこの意味が消失します。

AIの発展は人をより人らしい生活に導きます。

災害やウイルス感染症は山間部で生活することの重要性を浮き彫りにします。

農業が全自動化されれば農地の価値は必ずあがり、農村地域の価値そのものを変えてしまうことに繋がります。

つまり、この先、30年で起こる技術革新は我々の住む中山間地域を劇的に変えうる可能性がある。

そんなことを今まではまったく考えてもいませんでした。

しかし、何もせずにそんな未来に繋がるわけではありません。我々が今、イメージをすること。そして、そのイメージをたくさんの人が共有し、必ず来る時代の転換期に率先して手を上げるこの出きる地域にならないといけないということをこのアイデアが教えてくれました。

今から策定される地域ビジョンという指針がまさにその行動指針として、我々の地域の未来を今まで以上に素晴らしいものにしていただくために策定されることを期待しております。

このような機会を与えていただきありがとうございました。

## 一般社団法人BEETについて

丹波地域において教育と社会の橋渡しを行う組織として、主にキャリア教育を地域の小学校、中学校、高等学校で行っている。地域で働く大人を集めて高校生と小グループで談話する「夢ジョッキー」を始め、教育機関だけでは実施が難しい地域の社会人との連携を通して、丹波地域の若者の夢や理想のキャリアを実現できる仕組みの開発に取り組む。

## 未来のアイデア1000 (2050年-丹波地域版)

---

2020年12月25日 発行

編集 一般社団法人BEET  
〒669-2331 兵庫県丹波篠山市二階町17-2  
Mail: beet.sasayama@gmail.com

発行所 兵庫県丹波県民局 県民交流室 総務防災課 ビジョン班  
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688  
TEL: 0795-73-3724  
FAX: 0795-72-3077

印刷 印刷所は印刷部数により異なります

---

# MIRAI IDEAS 1000

出版：2020年

兵庫県丹波県民局 県民交流室